

ソクラーンの新名所。世界最大級の“水×音楽”のフェスティバル「S20」

バンコック駐在員事務所

新宅 令康

サワディーカップ。皆さま、タイで最も暑い時期が4月というのはご存知でしょうか。4月はタイの旧正月にあたり、ソクラーンと呼ばれています。現在は4月13日から15日に固定されており、祝日となっております。

元来、新年のお祝いで家族が集まり仏像や仏塔、年長者などの手に水を掛けてのお清めをするという伝統的な行事だったのですが、後に水の掛け合いに変化し、現在では祭りとしての色彩が濃くなっています。

そういった経緯で、現在は街で通行人同士が水を掛けあって楽しむ「水掛け祭り」として認知されており、これを目当てに多くの旅行者がソクラーン時期にタイを訪れています。

ひととき盛り上がりを見せるのはオフィス街である「シーロム通り」とバックパッカーの聖地「カオサン通り」で大規模な水掛け合戦が行われ、大賑わいとなっています。



さて、そんなソクラーンにおいて、ここ数年、人気急上昇の新イベント「S20 Songkran Music Festival」というものがあります。名称のS20は「SONGKRAN(ソクラーン)」と「H2O(水)」を合わせた造語で「世界で最も水に濡れるフェスティバル」と評されています。世界中から多くの人が集まり、3日間で延べ6万人弱を収容するチケットが即ソールドアウトしてしまう程の人気です。2018年には日本でもイベントを行い、大きな話題を呼んだそうです。

大人気のS20ですが、世界の大物アーティストによるライブステージの迫力はもちろん、会場には至る所に巨大なホースが設置されており、四方八方から大量の水が放出されます。参加には水に濡れてもよい服装か水着を着用し、またスマートフォンなどの防水は必須です。日没後は水に加えて、照明やレーザー光線、炎の演出も加わり、盛り上がりは加速していきます。筆者も参加したのですが、言葉では表現できない程の熱気に包まれていました。

会場内には多くの飲食コーナーもあり、またトイレも並ぶ必要がないほど数多く設置され、長時間のイベントにストレスなく過ごせる環境も揃っております。

タイにお越しの際は、1年間で最も暑いといわれるソクラーン時期に開催される「水浴びイベント」に参加されるのも趣があって良いのではないのでしょうか。



大量の水が放出されるライブ会場



日没後はレーザー光線などの演出が更に豪華